

「前衛」写真の精神： なんでもないものの変容

2023年4月8日[土]—5月21日[日]

前期 4月8日[土]—4月30日[日] / 後期 5月2日[火]—5月21日[日]

※大規模な展示替えがあります。

休館日：5月1日[月] 休室日：4月17日[月]

開館時間：10:00—18:00[金・土曜日は20:00まで] ※入場受付は閉館の30分前まで。

観覧料：一般=1,200円(960円)、大学生=700円(560円)、小・中学生、高校生=無料

※障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料。

※17歳未満の方、市内に在住する65歳以上の高齢者は半額。

※前売券は、ミュージアムショップまたはセブンイレブン(セブンチケット)、ローソンチケット(Lコード:31440)、セブンイレブン(セブンチケット)。

※千葉都市モノレール「千葉みなと駅」「千葉駅」の窓口にて4月7日まで販売(4月8日以降は当日券販売)。

※本展チケットで7階「実験工房の造形」、5階常設展示室「千葉市美術館コレクション選」もご覧いただけます。

※ナイトミュージアム割引：金・土曜日の18:00以降は観覧料半額。

※リピーター割引：本展チケット(有料)半券のご提示で、会期中2回目以降の観覧料半額。

※障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料。

※17歳未満の方、市内に在住する65歳以上の高齢者は半額。

※前売券は、ミュージアムショップまたはセブンイレブン(セブンチケット)、ローソンチケット(Lコード:31440)、セブンイレブン(セブンチケット)。

※千葉都市モノレール「千葉みなと駅」「千葉駅」の窓口にて4月7日まで販売(4月8日以降は当日券販売)。

※本展チケットで7階「実験工房の造形」、5階常設展示室「千葉市美術館コレクション選」もご覧いただけます。

※ナイトミュージアム割引：金・土曜日の18:00以降は観覧料半額。

※リピーター割引：本展チケット(有料)半券のご提示で、会期中2回目以降の観覧料半額。

※障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料。

※17歳未満の方、市内に在住する65歳以上の高齢者は半額。

※前売券は、ミュージアムショップまたはセブンイレブン(セブンチケット)、ローソンチケット(Lコード:31440)、セブンイレブン(セブンチケット)。

※千葉都市モノレール「千葉みなと駅」「千葉駅」の窓口にて4月7日まで販売(4月8日以降は当日券販売)。

※本展チケットで7階「実験工房の造形」、5階常設展示室「千葉市美術館コレクション選」もご覧いただけます。

※ナイトミュージアム割引：金・土曜日の18:00以降は観覧料半額。

※リピーター割引：本展チケット(有料)半券のご提示で、会期中2回目以降の観覧料半額。

※障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料。

※17歳未満の方、市内に在住する65歳以上の高齢者は半額。

※前売券は、ミュージアムショップまたはセブンイレブン(セブンチケット)、ローソンチケット(Lコード:31440)、セブンイレブン(セブンチケット)。

※千葉都市モノレール「千葉みなと駅」「千葉駅」の窓口にて4月7日まで販売(4月8日以降は当日券販売)。

※本展チケットで7階「実験工房の造形」、5階常設展示室「千葉市美術館コレクション選」もご覧いただけます。

※ナイトミュージアム割引：金・土曜日の18:00以降は観覧料半額。

※リピーター割引：本展チケット(有料)半券のご提示で、会期中2回目以降の観覧料半額。

※障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料。

※17歳未満の方、市内に在住する65歳以上の高齢者は半額。

※前売券は、ミュージアムショップまたはセブンイレブン(セブンチケット)、ローソンチケット(Lコード:31440)、セブンイレブン(セブンチケット)。

※千葉都市モノレール「千葉みなと駅」「千葉駅」の窓口にて4月7日まで販売(4月8日以降は当日券販売)。

※本展チケットで7階「実験工房の造形」、5階常設展示室「千葉市美術館コレクション選」もご覧いただけます。

※ナイトミュージアム割引：金・土曜日の18:00以降は観覧料半額。

※リピーター割引：本展チケット(有料)半券のご提示で、会期中2回目以降の観覧料半額。

※障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料。

※17歳未満の方、市内に在住する65歳以上の高齢者は半額。

※前売券は、ミュージアムショップまたはセブンイレブン(セブンチケット)、ローソンチケット(Lコード:31440)、セブンイレブン(セブンチケット)。

※千葉都市モノレール「千葉みなと駅」「千葉駅」の窓口にて4月7日まで販売(4月8日以降は当日券販売)。

※本展チケットで7階「実験工房の造形」、5階常設展示室「千葉市美術館コレクション選」もご覧いただけます。

※ナイトミュージアム割引：金・土曜日の18:00以降は観覧料半額。

※リピーター割引：本展チケット(有料)半券のご提示で、会期中2回目以降の観覧料半額。

※障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料。

※17歳未満の方、市内に在住する65歳以上の高齢者は半額。

※前売券は、ミュージアムショップまたはセブンイレブン(セブンチケット)、ローソンチケット(Lコード:31440)、セブンイレブン(セブンチケット)。

※千葉都市モノレール「千葉みなと駅」「千葉駅」の窓口にて4月7日まで販売(4月8日以降は当日券販売)。

※本展チケットで7階「実験工房の造形」、5階常設展示室「千葉市美術館コレクション選」もご覧いただけます。

※ナイトミュージアム割引：金・土曜日の18:00以降は観覧料半額。

※リピーター割引：本展チケット(有料)半券のご提示で、会期中2回目以降の観覧料半額。

※障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料。

※17歳未満の方、市内に在住する65歳以上の高齢者は半額。

※前売券は、ミュージアムショップまたはセブンイレブン(セブンチケット)、ローソンチケット(Lコード:31440)、セブンイレブン(セブンチケット)。

※千葉都市モノレール「千葉みなと駅」「千葉駅」の窓口にて4月7日まで販売(4月8日以降は当日券販売)。

※本展チケットで7階「実験工房の造形」、5階常設展示室「千葉市美術館コレクション選」もご覧いただけます。

※ナイトミュージアム割引：金・土曜日の18:00以降は観覧料半額。

※リピーター割引：本展チケット(有料)半券のご提示で、会期中2回目以降の観覧料半額。

※障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料。

※17歳未満の方、市内に在住する65歳以上の高齢者は半額。

※前売券は、ミュージアムショップまたはセブンイレブン(セブンチケット)、ローソンチケット(Lコード:31440)、セブンイレブン(セブンチケット)。

※千葉都市モノレール「千葉みなと駅」「千葉駅」の窓口にて4月7日まで販売(4月8日以降は当日券販売)。

※本展チケットで7階「実験工房の造形」、5階常設展示室「千葉市美術館コレクション選」もご覧いただけます。

※ナイトミュージアム割引：金・土曜日の18:00以降は観覧料半額。

※リピーター割引：本展チケット(有料)半券のご提示で、会期中2回目以降の観覧料半額。

※障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料。

※17歳未満の方、市内に在住する65歳以上の高齢者は半額。

※前売券は、ミュージアムショップまたはセブンイレブン(セブンチケット)、ローソンチケット(Lコード:31440)、セブンイレブン(セブンチケット)。

※千葉都市モノレール「千葉みなと駅」「千葉駅」の窓口にて4月7日まで販売(4月8日以降は当日券販売)。

※本展チケットで7階「実験工房の造形」、5階常設展示室「千葉市美術館コレクション選」もご覧いただけます。

※ナイトミュージアム割引：金・土曜日の18:00以降は観覧料半額。

※リピーター割引：本展チケット(有料)半券のご提示で、会期中2回目以降の観覧料半額。

※障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料。

※17歳未満の方、市内に在住する65歳以上の高齢者は半額。

※前売券は、ミュージアムショップまたはセブンイレブン(セブンチケット)、ローソンチケット(Lコード:31440)、セブンイレブン(セブンチケット)。

※千葉都市モノレール「千葉みなと駅」「千葉駅」の窓口にて4月7日まで販売(4月8日以降は当日券販売)。

※本展チケットで7階「実験工房の造形」、5階常設展示室「千葉市美術館コレクション選」もご覧いただけます。

※ナイトミュージアム割引：金・土曜日の18:00以降は観覧料半額。

※リピーター割引：本展チケット(有料)半券のご提示で、会期中2回目以降の観覧料半額。

※障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料。

※17歳未満の方、市内に在住する65歳以上の高齢者は半額。

※前売券は、ミュージアムショップまたはセブンイレブン(セブンチケット)、ローソンチケット(Lコード:31440)、セブンイレブン(セブンチケット)。

※千葉都市モノレール「千葉みなと駅」「千葉駅」の窓口にて4月7日まで販売(4月8日以降は当日券販売)。

※本展チケットで7階「実験工房の造形」、5階常設展示室「千葉市美術館コレクション選」もご覧いただけます。

※ナイトミュージアム割引：金・土曜日の18:00以降は観覧料半額。

※リピーター割引：本展チケット(有料)半券のご提示で、会期中2回目以降の観覧料半額。

※障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料。

※17歳未満の方、市内に在住する65歳以上の高齢者は半額。

※前売券は、ミュージアムショップまたはセブンイレブン(セブンチケット)、ローソンチケット(Lコード:31440)、セブンイレブン(セブンチケット)。

※千葉都市モノレール「千葉みなと駅」「千葉駅」の窓口にて4月7日まで販売(4月8日以降は当日券販売)。

※本展チケットで7階「実験工房の造形」、5階常設展示室「千葉市美術館コレクション選」もご覧いただけます。

※ナイトミュージアム割引：金・土曜日の18:00以降は観覧料半額。

※リピーター割引：本展チケット(有料)半券のご提示で、会期中2回目以降の観覧料半額。

※障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料。

※17歳未満の方、市内に在住する65歳以上の高齢者は半額。

※前売券は、ミュージアムショップまたはセブンイレブン(セブンチケット)、ローソンチケット(Lコード:31440)、セブンイレブン(セブンチケット)。

※千葉都市モノレール「千葉みなと駅」「千葉駅」の窓口にて4月7日まで販売(4月8日以降は当日券販売)。

※本展チケットで7階「実験工房の造形」、5階常設展示室「千葉市美術館コレクション選」もご覧いただけます。

※ナイトミュージアム割引：金・土曜日の18:00以降は観覧料半額。

※リピーター割引：本展チケット(有料)半券のご提示で、会期中2回目以降の観覧料半額。

※障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料。

※17歳未満の方、市内に在住する65歳以上の高齢者は半額。

※前売券は、ミュージアムショップまたはセブンイレブン(セブンチケット)、ローソンチケット(Lコード:31440)、セブンイレブン(セブンチケット)。

※千葉都市モノレール「千葉みなと駅」「千葉駅」の窓口にて4月7日まで販売(4月8日以降は当日券販売)。

※本展チケットで7階「実験工房の造形」、5階常設展示室「千葉市美術館コレクション選」もご覧いただけます。

※ナイトミュージアム割引：金・土曜日の18:00以降は観覧料半額。

※リピーター割引：本展チケット(有料)半券のご提示で、会期中2回目以降の観覧料半額。

※障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料。

※17歳未満の方、市内に在住する65歳以上の高齢者は半額。

※前売券は、ミュージアムショップまたはセブンイレブン(セブンチケット)、ローソンチケット(Lコード:31440)、セブンイレブン(セブンチケット)。

※千葉都市モノレール「千葉みなと駅」「千葉駅」の窓口にて4月7日まで販売(4月8日以降は当日券販売)。

※本展チケットで7階「実験工房の造形」、5階常設展示室「千葉市美術館コレクション選」もご覧いただけます。

※ナイトミュージアム割引：金・土曜日の18:00以降は観覧料半額。

※リピーター割引：本展チケット(有料)半券のご提示で、会期中2回目以降の観覧料半額。



千葉市美術館
Chiba City Museum of Art

瀧口修造・阿部展也・大辻清司・牛腸茂雄

シュルレアリスム写真から「なんでもない」写真へ— 現代に接続する「前衛」の精神とは

会 期 2023年4月8日(土)—5月21日(日) 前期:4月8日(土)~4月30日(日) / 後期:5月2日(火)~5月21日(日)

開館時間 10:00—18:00(金・土曜日は20:00まで) ※入場受付は閉館の30分前まで

休 室 日 4月17日(月)、5月1日(月) ※5月1日(月)は休館日

観 覧 料 一般1,200円(960円)、大学生700円(560円)、小・中学生、高校生無料

※障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料 ※()内は前売り、市内在住65歳以上の方の料金

※前売券は千葉市美術館ミュージアムショップ、ローソンチケット(Lコード:31440)、セブンイレブン(セブンチケット)、千葉都市モノレール「千葉みなと駅」「千葉駅」「都賀駅」「千城台駅」の窓口にて1月12日まで販売(1月13日以降は当日券販売)。

◎リピーター割引:本展チケット(有料)半券のご提示で、会期中2回目以降の観覧料半額

◎ナイトミュージアム割引:金・土曜日の18:00以降は観覧料半額

◎本展チケットで7階「実験工房の造形」、5階常設展示室「千葉市美術館コレクション選」もご覧いただけます。

主 催 千葉市美術館 特別協力 武蔵野美術大学短期大学部 美術館・図書館 企画協力 株式会社アートインプレッション

■ 概要

本展覧会では、瀧口修造、阿部展也、大辻清司、牛腸茂雄の4人の作家の交流と創作を辿りながら、1930年代から80年代にわたる日本写真史の一断片をご紹介します。

1930年代、技巧的な前衛写真が活発に発表されるなか、瀧口は、写真におけるシュルレアリスムとは「日常現実のふかい襞のかげに潜んでいる美を見出すこと」だと語りました。本展は、この思想をひとつの軸としています。瀧口とともに38年に「前衛写真協会」を立ち上げた阿部は、瀧口に共鳴し、街の風景にカメラを向けました。また、瀧口と阿部に強く影響を受け、交流もあった大辻は、「なんでもない写真」と題したシリーズを手掛けます。そして、大辻の愛弟子・牛腸は、「見過ごされてしまうかもしれないぎざぎざの写真」という自身の言葉どおり、独自の視点で周囲の人々や風景を捉えました。

4人の作家の思想や作品は、お互いに影響を与えあい、前衛写真として想起される技巧的なイメージを超えた「前衛」の在り方を示します。戦前から戦後へ、そして現在まで引き継がれる「前衛」写真の精神をご堪能ください。

■ 記者レクチャー・内覧会

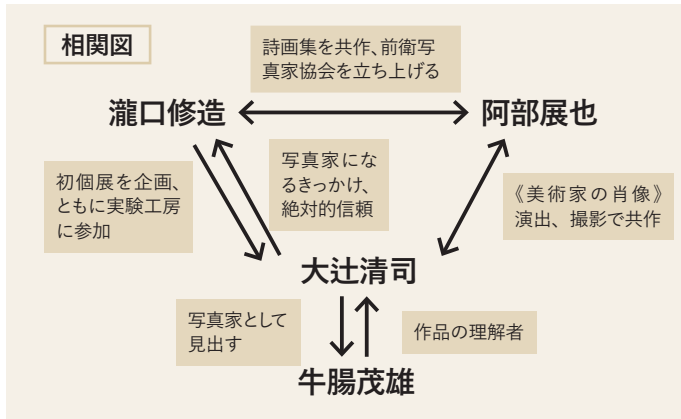
一般公開に先駆けて報道関係の皆様を対象に、記者レクチャーおよび内覧会を行います。展覧会の見どころを担当学芸員よりご説明し、その後展示室をご覧いただけます。

4月7日(金)14:00-18:00(13:30開場) / 8階展示室にて

参加ご希望の方は、申込書に必要事項をご記入の上、FAX またはメールにてご連絡ください。

■本展のキーポイント

- 2023年は瀧口修造生誕120年、阿部展也生誕110年、大辻清司生誕100年、牛腸茂雄没後40年の節目の年
- これまで繋げることのなかった4人の作品・思想を、「前衛」という視点で捉え直す展覧会
- 「前衛」写真のはじまりであるウジェーヌ・アジェから、スナップショット的な「なんでもない」写真まで、約270点の作品で日本写真史における「前衛」の変遷をたどる



■「なんでもない」写真（「コンポラ写真」）とは？

1960年代後半から70年代前半にかけて流行した写真表現。何気ない日常をさりげなく撮影したスナップショット的なスタイル。大辻清司による「コンポラ写真」の特徴は、「横位置で撮影したもの」「単純素朴な手法であること」「被写体には日常のありふれた事象が多い」。後に牛腸茂雄はその代表的な作家とされた。



牛腸茂雄《見慣れた街の中で30》1978-80年 新潟市美術館蔵

■瀧口修造(1903-79) / 詩人・美術評論家

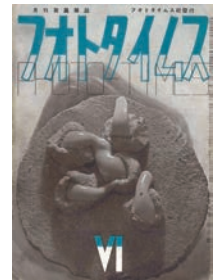
富山県生まれ。1915年、父の暗室で初めて写真を現像する。30年、アンドレ・ブルトン『超現実主義と絵画』を翻訳、シュルレアリスムをはじめフランスの現代詩と美術を日本に紹介。38年、写真雑誌『フォトタイムス』を通じて「前衛写真協会」を阿部展也らとともに結成。以降、同誌で海外の写真作品や評論を盛んに紹介する。戦後は美術評論家として活躍。51年、「実験工房」の活動に参加。自身もデカルコマニーなどの作品を制作する。



大辻清司《瀧口修造夫妻、書斎にて》1975年 富山県美術館蔵

■阿部展也(1913-71) / 画家

新潟県生まれ。中学校を中退、独学で画家を志す。1937年、詩画集『妖精の距離』（詩：瀧口修造、画：阿部芳文（展也））刊行。38年、『フォトタイムス』の表紙写真を担当し、以降同誌で実験的な写真やテキストを発表する。同年、瀧口修造らと「前衛写真協会」結成。戦中は従軍し、フィリピンで記録写真などを手がける。戦後は様々な画風でアンフォルメルや幾何学的な抽象画を発表するほか、インドやアメリカ、ヨーロッパをまわり、最新の美術動向を日本に紹介した。



『フォトタイムス』15巻6号
【写真：阿部芳文（展也）】1938年



大辻清司《無言歌》1956年 千葉市美術館蔵

■大辻清司(1923-2001) / 写真家

東京生まれ。小学校6年生のとき叔父からカメラを借り写真を撮る。1940年頃、古本屋で『フォトタイムス』をまとめて入手、マンレイらの海外の写真作品や瀧口修造の評論に触れる。42年、東京写真専門学校（現・東京工芸大学）入学、終戦後写真の仕事をはじめ。53年、『アサヒグラフ』にて北代省三らと「APN」連載。この頃より「実験工房」「グラフィック集団」に参加。雑誌等での写真発表の他、写真教育にも積極的に携わる。

■牛腸茂雄(1946-83) / 写真家

新潟県生まれ。3歳で胸椎カリエスを患い、ほぼ1年間を寝たきりで過ごす。1965年、桑沢デザイン研究所リビングデザイン科入学、卒業後に教員の大辻清司の強い勧めにより、同校写真専攻へ進む。卒業後、カメラ毎日を中心に写真を発表、60年代末頃にコンポラ写真を牽引する代表的な存在となる。71年に初の写真集『日々』を自费出版。写真の他に、心理学を応用したインクプロットやデカルコマニーの作品も残す。



牛腸茂雄《幼年の「時間」1》1980年頃 新潟市美術館蔵

■同時開催

「実験工房の造形」

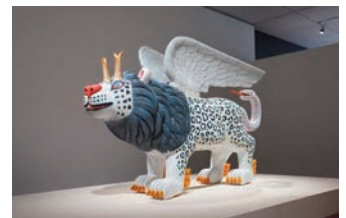
7階企画展示室 [休室日]4月17日(月)、5月1日(月) [観覧料]一般500円 大学生400円(企画展ご観覧の方は無料)

「つくりかけラボ11 金田実生|線の王国」

4月17日(月)ー7月2日(日) 4階子どもアトリエ [休室日]第1月曜日 [観覧料]無料

■次回展予告

2023年6月10日(土)ー9月10日(日) 「三沢厚彦 ANIMALS/Multi-dimeinsions」



三沢厚彦《Animal 2020-03》
© Atsuhiko Misawa, Courtesy of Nishimura Gallery

■ 広報用画像一覧

展覧会広報用として作品画像をご用意しております。ぜひ、本展をご紹介くださいますようお願いいたします。
ご紹介いただける場合は、別紙の申込書に必要事項をご記入の上、FAXにてご連絡ください。
画像の使用は1回限りとし、展覧会紹介の目的にのみご使用ください。



1 大辻清司《無言歌》1956年 千葉市美術館蔵



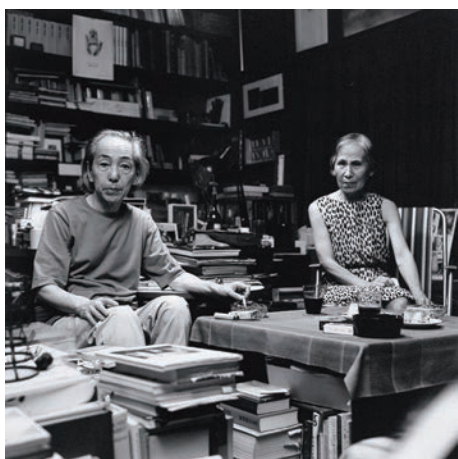
2 大辻清司《物体A》1949年 千葉市美術館蔵



3 牛腸茂雄《幼年の「時間」1》1980年頃 新潟市美術館蔵



4 牛腸茂雄《見慣れた街の中で30》1978-80年 新潟市美術館蔵



5 大辻清司《瀧口修造夫妻、書齋にて》1975年 富山県美術館蔵



6 阿部芳文(展也)《『フォトタイムス』15巻6号表掲載写真》
1938年 新潟市美術館蔵

広報用画像データ・プレゼント用招待券申込書

■写真ご使用に際してのお願い

- * 作品写真の使用は、本展のご紹介をいただける場合のみとさせていただきます。
- * 写真のご利用は、1 申込について1 回とし、使用後のデータは破棄してください。
- * 基本情報確認のため、広報担当まで一度校正紙をお送りください。
- * 掲載後、広報担当まで見本誌をご送付くださいますようお願いいたします。
- * お手数ですが、招待券プレゼントの受付、発送などは、貴編集部にてお願いいたします。原則として、掲載紙をご送付いただきました時に招待券をお送りいたします。

千葉市美術館
広報担当 磯野 行
FAX : 043-221-2316
E-mail : isono@ccma-net.jp

貴社名 :	媒体名 :
ご担当者名 :	発行予定日 :
TEL :	発行部数 :
FAX :	定価 :
Email :	掲載予定コーナー名等 :
画像到着希望日 : 月 日 時まで	画像の掲載サイズ <small>(おおよそで結構です 例 : 5cm 四方、など)</small> :

■画像データ申込 (ご希望のデータの番号に○をつけてください。)

- 1 大辻清司《無言歌》1956年 千葉市美術館蔵
- 2 大辻清司《物体A》1949年 千葉市美術館蔵
- 3 牛腸茂雄《幼年の「時間」1》1980年頃 新潟市美術館蔵
- 4 牛腸茂雄《見慣れた街の中で 30》1978-80年代 新潟市美術館蔵
- 5 大辻清司《瀧口修造夫妻、書齋にて》1975年 富山県美術館蔵
- 6 阿部芳文(展也)《『フォトタイムス』15巻6号掲載写真》1938年 新潟市美術館蔵

■『前衛』写真の精神:なんでもないものの変容」 プレゼント用招待券申込 (ご希望の場合はチェックをつけてください)

5組10名様分 希望します。

(それ以外の枚数が必要な場合は別途ご相談ください。)

チケット送付先

ご住所 : 〒

問い合わせ先

千葉市美術館

〒260-0013 千葉市中央区中央3-10-8

広報担当: 磯野 愛

Tel. 043-221-2311 (代表) /043-221-2313 (直通)

Fax. 043-221-2316

E-mail isono@ccma-net.jp

HP <https://www.ccma-net.jp/>

「前衛」写真の精神： なんでもないものの変容

瀧口修造・阿部展也・大辻清司・牛腸茂雄

記者レクチャー・内覧会 4月7日(金) 14:00～18:00 8階展示室にて

報道関係の皆様を対象に披露説明会および内覧会を行います。
展示会の見どころを担当学芸員よりご説明し、その後展示室をご覧ください。

[タイムスケジュール(予定)]

13:30～ 記者レクチャー会場へのエレベーター稼働・開場
14:00～ 担当学芸員より会場にてご説明
14:20～ 自由内覧

参加ご希望の方は下記項目にご記入の上、

FAX: 043-221-2316 または **E-mail: isono@ccma-net.jp**

までご返信ください。

ご芳名

ご所属

貴媒体名

お電話番号

E-mail
